2004年４月の日記
出国
20040405
　５時半に起きて、ＡＯＬとザムネット、海外でのダイアルアクセスについて調べた。ＡＯＬはザンビアでは無意味。ザムネットの書類を出力し、モデム保護機と電話のアダプターを購入することにした。８時５１分の電車に乗り出発。１０時前に新宿のJ***で出発前の手続き。ボツワナへ向かうMG氏、MR氏さんと合流。その後、ひとりでビックカメラにてモデム保護機とアダプターを８０００円ほどで購入し、新橋へ。新橋で床屋に行き、少しぶらついてから都営浅草線、京成線で成田第二ターミナルへ。１４時頃について荷物を受け取り、ＪＡＬへチェックインする。超過１６キロ。１４０８００円支払う。１５３０頃、近ツリの担当者とちょっと会って、すぐに出国手続き。空港内でシャワーに入り、薬をつけた。その後、ヤフーの無料インターネットをして、メイル。
１７４０にＪＡＬ７３５（Ｂ７４７）便定刻発。夕食を和食でとる。比較的快適。香港に定刻着。香港空港で、ＳＶのMGさん、MNさんと合流、ＳＡ（南ア航空）用の搭乗券を最終目的地まで貰う。協力隊員にも自己紹介。その後、移動してＳＡ２８７に乗る、日本時間で１２５０分。Ａ３４０－８００？ジャンボよりも機体が長くて設備が最新。ビジネスの椅子は完全にベッドになる！食事は食べずにそのままアイマスクとマスクをして睡眠。現地時間で朝の５時半くらいまで寝たり、映画を見たりしてすごした。とても快適。到着９０分前に朝食をとった。

移動　入国
20040406
　ヨハネスブルグに定刻着。ヨハネスでは、JOCV関係者をまとめて誘導してくれたが、ちょっとうざい。自分でさっさとトランジット側へ移動して、手荷物検査をし、搭乗ゲート側へ移動した。しばらく散策してから、ＳＡ（南ア航空）のビジネス用ラウンジにはいりネットでメイルを送る。シャワーにも入って、薬もつけた。ビールを一本貰って。ミネラルウォターを一瓶持ち帰る。２７番ゲートからバスにのってＢ７３７に乗る。満席ではないので、窓から外が見える。定刻発、軽食が出た。空からみると、平らで緑にあふれる大地がきれい。雲もきれい。定刻に到着。１３３０少し蒸し暑い。空気はきれい。空港は日本の地方の県庁所在地にある国鉄駅のようであった。入国手続きはJ***調整員のＤさんが来てくれていたので、J***関係者がまとめて通り問題無し。ただし、協力隊員のスーツケースが一個不明。自分のダンボールは開けてチェックを受けた。（ダンボールは必ず開封されるそうだ）そのまま、空港から車で移動してクリスマーホテルに入る。まだ両替もしてないので、チップの用意なし。４時に迎えがあって買い物に行った。当地の大ショッピングセンターであるマンダ・ヒルで５００ドルを両替して、約２２０万クワチャ。１円を４０倍してクワチャにすることにした。４０００クワチャを４０で割って１００円。１ドルが１２５円くらいならこんな感じ。ただし、この日は１ドル１０７円くらいで換金かな。その後、マンダ・ヒルでビール、ワイン、チーズ、サンドイッチ、ぶどうを買う。８万クワチャ（８０サウザン）くらい、約２０００円。協力隊員一人がお金が足りなくなり一時立て替える。その後、ホテルでＤさんと打ち合わせ、明日は８時に車で迎えに来るとのこと。パスポート、航空券、写真、東京三菱銀行信託会社の口座番号が必要とのこと。Ｄさんはホテルの近くに住んでいること。それと、ホテルの脇からJ***事務所へ歩いていく近道を教えてくれた。Ｄさんがホテルの朝食の取り方と、ネットカフェ（カフェじゃないけど）の使い方を教えてくれた。８時まで利用可能。あと、セイフティボックスはフロント内部にあるとのこと。ということで、サンドイッチの夕食をすませて、お金を預けてから、ネットを少ししたが、日本語フォントが無いので、明日は自分のＰＣを繋ぐことにする。

いよいよ
20040407
　５時半頃起床、朝食がキーを見せればとれるとのことで、６時に行くと、シリアルしかない。でもそれですました。今日は、８時にホテルにJ***の車が迎えに来て、J***事務所に行った。歩いても５分。元日航客室乗務員でシニアボランティア担当のＤさんに所内と所員を案内して貰ってから、到着の報告書と J***からのお金の送付先銀行の書類、それと日本大使館に出すザンビアに滞在する旨の書類を書く。その後、協力隊の８名と一緒に、J***事務所のＩ所長の話を１時間聞く。１２時には庭師のムエンベの面接をした。とても感じのよい青年。しかし、約束の時間にドライバーの候補はこなかった。連絡方法がないのでこまる。前任者からのメイルの内容と違って、そのドライバー候補は、オリバーの友人の弟。他人じゃないか。午前中は、それで終わりで、午後２時からＳ次長の安全情報を１時間半、これはシニアの自分だけ。ＡＫ４７は中国製のコピーが出回っていて、１日４０ドルでレンタルできるのだとさ。それ以外は、出発前に研修と重複する内容だったけど、要するに自分の安全は自分の責任で守ること！ということだった。その後は、Ｄさんと明日以降の打ち合わせ。どうやらシニアの人は、個性的な人が多いようだ。明日は勤務先になるＮＳＣ（国立科学センター）に行ったり、家の契約をしたり、保健関係の話を聞いたりする予定。このＰＣにＩＰアドレスを入れてもらってホテルからインターネットをした。１時間位チャットできた。すごい夕立（これでは車両の運転は難しそう）もあったけど、昼間はものすごく空が青くて、遠くまでいろいろな形の雲が見えてきれい。夕食は、ポテトとチキンから揚げ、それとビーフステキーキにトマトかなのソースをかけたやつ。から揚げはこげている。それとソースはすごく辛かった。でも、ビールを２本つけて腹いっぱいになって７８０００Ｋ（７８サウザン）８０サ

ウザン払って、２０００Ｋのおつり、１０００Ｋはチップにした。

借家の契約
20040408
　８：３０にJ***事務所。SC銀行の口座を開く書類に記入。（後で追加あり）Z大学文学部の先生を紹介される。彼が英語の教師になる。１０時前にＮＳＣに出発。所長、ディレクター、カウンターパートと会う。所内をちょっと見学、自分のオフィスも見る。ファンタ、コーラ、ビスケットで談笑。英語はゆっくり話してくれるが、時おり早口になる。掛図の内臓が左右逆だと指摘した。後日再チェック。ＮＳＣを後にして、マンダ・ヒルで銀行口座を開いた、担当者がのんびりしていたが開けた。口座番号も確定。（これまでに無い速さだそうだ）。しばらく待たされたり、書類を追加でつくったりしたが、５００ドルだけのデポジットでＯＫであった。マンダ・ヒル支店銀行が本社と連絡してからなので、来週から口座として機能のようす。口座解説前にＡＴＭでクワチャを降ろせることを確認！一旦Ｄさんと J***事務所に戻り、教育担当のＳさんと、Ｄさんとともに中華料理を楽しむ。といっても、マーボー豆腐に、炒飯と焼きそば。その後、J***事務所に戻り、ホテルへ、歯磨き、トイレを済まし、午後の家の契約に必要なお金をセイフティボックスから出す。２時４５分頃、Ｄさんが来てくださり。ムルングシへ出発。自宅になる家に、管理会社の人３名と運転手候補のオリバーが来ていた。部屋を点検しＯＫ。その後すぐに、契約手続き、先に５７００ドル（部屋代２か月分と１か月分の警備費）を払ってから、契約書を交わす。契約書と領収書はJ***に出すことになる。オリバーにはイースター休暇中だが、明日の昼ごろまた会うことにした。続けて、市場の近くにあるザムネットでインターネットの契約。とりあえず１８５０００Ｋかかる（約４２００円か？）。その後、ホテルへ、明日１０：００にＤさんが来るとのこと。部屋に荷物を置いて、ネットをしにいくと、ザムテルが不調のようで、ネット使用付加。食事（フィッシュアンドチップス）を先にして、ネットカフェに戻るが復旧していなかった。洗濯しながらシャワーに入り。その後、すこし室内でがちゃがちゃしてお休み。８５００ドル持ってきたのに、ドルの残金はあと１８００ドル。明日はホテルの清算に５００ドルくらい必要だろうか。

入居
20040409
　６時前に起床、７時頃まで荷物の整理、ホテルで朝食。１０時少し前にチェックアウト、Ｄさんがホテルに来てくれて、金額をチェック。Ｄさんがダイヤルキャブを呼んでくれたので、それに乗ってムルングシへ（タクシーの速度計は動かない）運転手のオリバーが来ていて、部屋に入り（入り口で手間取った、玄関の鍵は３種類）荷物も持ち込み開始。向かいのＳＶであるＩさんご夫妻が早速ご挨拶。１２時半に、Ｉさんの隣家であるＵさん宅で昼食の予定。オリバーを待たせて、４月中の契約書を準備、J***の雛形と対訳ソフトでなんとか作成。ただし、プリンタのドライバがなかなかわからず、印刷に手間取る。文面はオリバーとみながらチェック。U氏宅で、昼食、サラダとパスタ、それにｍｏｓｉを手酌で。元気そうな奥さんと京大出身の夫君。戻ってから、オリバーと買い物。マンダ・ヒルはしまっていたので、アーケードへ行った。ミネラルウォーター、ソーセージ（でかすぎ、後で後悔した）、ネクタリン（パサパサで失敗）、トマト、アスパラガス、ブロッコリーを買った。それ以外に、洗剤、ティッシュ、殺虫剤。帰りに少しドライブして戻る。オリバーに日当２万クワチャとボーナス１万を渡し、部屋の整理開始。まずは、書斎が使えるようにすること。夕夜、ザムネットを試した。使えるが２８．８Ｋｂｐｓがやっと、でもチャットもできた。夕食は、ソーセージとご飯とアスパラ。ご飯は、前任者が２０キロパントリーに残してあったのと、冷凍庫にもあった。（冷蔵庫は３つある）お風呂に入ろうとしたが、途中からつめたくなるので、あきらめて、シャワーにした（後でわかったが、２００リットルくらいの電気で沸かすお湯のタンクがあり、その半分くらいが一度に使えるようだ）

借家の片付け
20040410
　６時前に起きて、片付け開始。本棚を移動したり、同時に洗濯を何回もしたり。トイレのマットとかカバー類は洗って乾かして、もう使わないつもりだ。なんとか、書斎、食堂などが使えるようになった。ものすごく疲れているが、緊張していたようだ。オリバーに午後に来て貰い（２時頃だったかな）買い物。延長コード、プラグの先端部、プラスチック箱類、鍵用のタグ、Ａ４用紙、消毒用アルコール、塩酸（次亜塩素酸かと思ったら書いてあった通り、やっぱり塩酸だった）、ルサカの地図、ノートを買った。マンダ・ヒルの GAME というホームセンターはほとんど日本と同じ、高価かもしれないくらい。その後、ドライブして戻ったが、オリバーはタクシー代が必要と言った。少しのドライブと言ったのに。ちょっと怒った。

まだまだ片付け
20040411
　やはり早朝から掃除と洗濯。掃除機の使い勝手が悪かったがなんとか家中に掃除機をかけた。片付けの中心は台所。電気製品で常に使うものをアルコールで磨く。それ以外はムルングシに属するものをしまうために決めた棚に押し込む。冷凍庫の霜取りが一番大変だったが、指をけがしながらも、そこまでだいたい午前中にやりきる。ベッドカバー

の洗濯もした。（でも、翌日やり直した）午前中に、ＳＶのＵさんとＹさんが突然来て、５時３０分からの散歩に誘われた。午後は、メイルやメッセンジャーで送る写真を撮り、メッセンジャーをしながら転送、蝶が綺麗だった、近くの猫も見た。夕方、初めての散歩、ムルングシ内のショートコースを２周。Ｉ所長家族とＵ夫妻とも出会った。どういうルートで歩いて帰ったのはさっぱりわからなかったが星が見えはじめていた。夜は、ブロッコリーをゆで、ソーセージと卵入りの味噌汁を作った。十二国記（日本から持ってきたのはこれだけ）のビデオを見て寝た。

まだイースター休暇
20040412
　起きた時から疲れているなと言う感じ。午前中に、ポポンＳとバファリンも飲んだ。曇り空。ベッドカバーと毛布も洗濯。ベッドカバーはやっぱり洗剤の白い粉がとれなかった。電気調理器具の掃除の続きをした。朝は、昨日のおつゆの残りを食べた。やっぱり洗濯は４回くらいになった。壁の割れ目をグルーガンで補修するも完全にできず。朝は昨日の残りの味噌汁。明日の買い物やオリバー、ムエンベ用のメモをつくったり、ウェブでラジオを探したり、チャットしたりした。日記のサイトを立ち上げを頼んだが、うまくいっただろうか。５時半に散歩の迎えがきたから、中座したままになってしまった）（昼寝をしようとしたが、時間がなかった。）。廊下の電気が切れた。鍵用のタグをつくった。ということで５時半から散歩、６時半から中華料理にさそわれて行った。一番おいしい中華料理店のようで、日本の普通のレストラン程度の味。まあ満足、他の４人のＳＶと割り勘で、３４５００クワチャ（８６２．５円位）分食べた。ＭＯＳＩビール１本、海産物スープ、麻婆豆腐、チンジャオロースー、油揚げと韮の炒め物、イカの揚げ物、チキン炒飯。お店客の約半分以上がＪ***関係者だった。うーん。車でムルングシから出て少しのところだったけど、街頭が無くて、こりゃ、夜運転できないかもと思った。８時４０分頃帰宅、シャワー、洗濯をして、お酒を飲みながらこのメモを作った。昨日霜取りをした冷凍庫は清潔な感じになったので、ほっとしている。天気は曇りがち、ちょっとだけ雨が降った。ＮＨＫラジオのサイトでラジオを聴こうとしても、データがとぎれとぎれなので、５秒くらいしか言葉が続かない。一方ＢＢＣサイトのニュースは途切れずに切れる。ＮＨＫがメディアプレーヤーなのに、ＢＢＣはリアルプレーヤーだからじゃないかな。その後、ラジオジャパンのサイトから良好にニュースを聞けた。リアルプレーヤーだった。

庭師の面接
20040413
　９時にムエンベの面接と契約をした。こまごまとしたことをこちらから書かせて貰った。彼は、前任者の前に、庭師をしていた家で園芸指導を受けたとのこと。前任者より、かなりの給料を提示した。彼からも学校のお金とか、病気の時のこととか、新しい道具を揃えｒ（仕事着のオーバーオール２年間換えていないし、園芸バサミは柄が折れていた）とか、いろいろ注文があった。契約書を対訳ソフトで作成し、お互いにサイン（契約書類は２通作って、お互いが保管するのが通例のようだ）。その後、銀行でドルを両替してちょっと買い物。オリバーがミルミルを買い物カートに入れて、それも購入。オリバーとムエンベはミルミルからシマを作って昼食。どんなものか見せて貰ったが、こちらはパスタを作りすぎて満腹で試さなかった。彼らに４月分の給料を早々に払ってから事務所へ出発。午後は、財務省と教育省の表敬訪問、ちょっと挨拶しただけ。教育省では担当の役人が大臣に会議で呼ばれているとかで出てこなかった。Ｊ***に戻ってからも担当者がぷんぷんしていましたね。今朝も電話で確認したのに！とか。ところで、ムエンベに珍しい生き物がいたら教えてって契約にいれておいたら、さっそく黄色のカメレオンを見せてくれた。かわいい！また頼もう。

任国事情
20040414
　ちょっと疲れたかな。今朝は起きるのが辛かったので、目覚ましを２回ずらした。７時３０分にオリバーとムエンベが出勤（どうやらもっと早く来ているのだが、前日に明日は何時と伝えた時間になるとベルを押すようだ）今日は、事務所でＳＶの処遇と経理処理の概要説明。そのあと沖縄出身Ｗさんの健康管理の話。１２時から１５時まで空きで、その後、警備会社より任国事情。いろいろ気をつけることがありそうです。左手で物を渡すなとかね。空き時間に車の登録費を払いにオリバーが行った。庭師の道具を見るのは今日できるだろうか？使用人の部屋を整備したいので、ちょっとお金がかかりそう。それと、ドライバーと庭師に給料を払ったので、次はお金が入るまで厳しいかな。家の中は、砂埃がうっすらとたまるので、週２回は掃除を頼むのが適当みたい。いろんな出費をどう調整するかこれから考えよう。まず、健康な生活ができるようにしておくのが第一のようだ。ゴミ収集は、生ゴミ、燃えるゴミ、瓶、カン、ペットボトル、全てひっくるめて金曜日に収集するのだそうだ。いろんな制度がわかるまでしばらくかかるかも。ＮＳＣのオフィスにも手を加えて仕事がしやすくしたいし、まあ、楽しみでもあるけど。ＮＳＣに通勤するようになっても、昼食は自宅で取るのもいいのだそうだ。オリバーはそれを望んでいる。前任者の時は、ＮＳＣの食堂でとっていたが、不満が多かったようだ。
　当地では、首都なのに警察は夜２台しかパトカーが市内を回っていないそうだ。警察官がパトカーで通勤しちゃうから。

まだまだ手続き
20040415
　今日はＤさんが一日開けてくれたので、朝事務所に住宅手当の書類の準備に行き、その後、ムエンベの道具を購入の予定にしていた。しかしまず、事務所って行ったのに、オリバーは車の登録の続きに行って、ムエンベの道具の金額チェックに回り始めたので、きつく怒った。始めて携帯電話で送話して、Ｄさんに遅れる旨を連絡。事務所に着いてから、書類を提出。その後、マンダ・ヒルでも値段をチェックして、買い物の後、自宅で昼食。昼食後、オリバー、ムエンベと道具の買出し。タウンは別の惑星見たいに不思議な所だった。これからも何回も行くと思うが、いろいろな店で値段をチェックしてから買い物するのは、秋葉原の店を回るようで楽しい。でも、貴重品については緊張した。たくさんまとめて買うと安くしてくれた店もあった。日中は緊張しているので、自宅に戻って、庭師とドライバーが帰ると緊張が緩む。チャットにちゃんと応えられなくて怒られるけど。もうしばらく待ってよ！という感じ。ちょっと足ががくがくする。健康管理担当者は、肉とビールをひかえて野菜を意識して摂取せよと強調していらっしゃった。

電話局の前はでこぼこ道
20040416
　昨晩は、たぶん、主寝室にある冷蔵庫のコードを直して、メイラーをいじって（これがわからん）、シャワーと洗たくをして（洗濯を干さずに寝た）、ゴキブリと格闘した。ゴキブリは６センチくらいでりっぱなやつ。バスルームの壁にいたので、Doom という殺虫剤をスプレーして、熱湯のシャワーで排水口に流し込んだ。大きくて立派だったけど、昨日は標本にする気持ちにならなかったな。そろそろ虫対策を考えておかないと、乾季はまだいいと思うが、雨季が心配だ。これから涼しくなっていって朝晩は３℃くらいまでさがるそうだ。でも、日中は２５℃くらいなので、水分を取り忘れないようにとのこと。今日はゴミの日である。すべてのゴミを一緒に処理だそうだが、袋に入れたものをそのままムエンベに渡してお願いした。朝、ノートンのウイルスソフトの更新をしたら、５０００円以上掛って、接続にも１時間掛かった。今日の午前中だけで、公共料金の名義変更ができると思っていたが、甘かった。電話局だけで時間をとりすぎて、後は来週。旅券のコピーやらお金（千円くらいだけど）やら、J***のサインが必要とのこと。とにかく電話局前は道がひどかった、かつて舗装してあったらしいが、雨のせいか、穴ぼこだらけであった。事務所で前任者の解約書類を貰って、それを他の公共料金手続きでは持参することにした。夜は、棚や机の拭き掃除をした。

４月１７日
20040417
　朝は、昨日夕食につくって焦がしてしまったパスタのソースでパスタを食べる。それとスイカ。お腹がゆるいけど、５０分かけて家の床に掃除機をかけた。錆びて、曲がっていた持ち主不明の裁ちハサミ（サイトウと名前がある）を、クレンザーで暫く煮てから磨いた。なかなか綺麗になった。それを金槌で叩いて、ちょうどよく切れるように復活させた。１１時３０分ころＵさんが迎えて来てくださって、Ｕさんのブルーバード（１２年歳）SV の歓送迎会に出発。９年間こちらで働かれた G さんへの感謝の会が中心。自宅あるムルングシから未舗装道路を１０キロ行った。U さんによると雲が綺麗なのは、当地が高地にあるからだそうだ。途中の道は、ヒッチハイクを試みる人や、でこぼこに、ぬかるみ。それと何も無い一本道と草原。アフリカに来たと初めて実感した。
　会場は白人の経営する爬虫類園。ワニ、トカゲ、ヘビ、カメ園でした。黒人、白人、入り乱れて釣り大会も開催中であった。屋外の東屋風の場所と木陰にあるテーブルと椅子でワイン、ビールとサラダにバーベキュー、自己紹介などいろいろ、後半は少し疲れた（どこでも疲れるが高地になれるまでも必要かな？温泉で療養していた頃と同じかそれより少し高い高度ではないかな）年配の方が多いのに、よく食べ、よく話すのでびっくり。G 氏によると土壌が赤いのは、シロアリがすぐに落ち葉を食べてしまうためとか。アリのせいで、表土にダニなどの小動物も少ないのだそうだ。アリ地獄の穴を多数見た。
　あまったバナナとワインを貰って帰宅。帰って来て、家の周りを回ると、巨大な黒いマイマイを発見。うーん、うわさのアフリカマイマイかな？あけると線虫だらけかも。
　夜は、やっとこれまでのレシートを整理。めずらしく、ノートにすべてのレシートを貼って、集計。それとこの文章の整理を同じくやっと始めた。

４月１８日
20040418
　朝洗濯して、台所製品を少し磨いて、資料のファイルづくりをやりかけて、また日記の整理をしていたら、お向かいのＩさんからお電話。そういえば、はがきにデジタルカメラの写真を印刷する方法を教える約束をしていた。電話の１時間後に訪問して、説明。ＸＰの標準機能のままできた。帰宅しようとしたら、呼び止められてシードル（リンゴのお酒）にウイスキーで歓談。Ｉ夫妻は、２０年以上の海外経験。K 製鋼で、北アフリカ、イランなどでご指導されてきた。イラン・イラク戦争では、ＮＨＫのプロジェクトＸで有名なトルコ航空機で脱出された経験も。中国人、インド人、アラビア人、アフリカ人などあらゆる人々との交渉経験があるそうで、穏やかな外見からは想像できない経

歴があるとか。Ｉ夫妻宅は、北側（太陽が来る側）が湿地に面しているので、ヘビが屋内に入ってきたり、正体のわからない生き物と遭遇したりとか。これからもいろいろご指導をお願いできそうであった。ただし、ウイスキーを飲みすぎたので、早々にシャワーを浴びて（ちょっともどした）寝た。６時まで裸でベッドにころがっていたようで、Ｉ婦人の電話で起きた。メイドさんの紹介の件。来週水曜１時に来てくれるそうだ。そのまま、今度は寝巻きの上だけを羽織って、翌朝の３時まで寝た。ベッドでごそごそしていて４時半からＰＣに向かい、これを入力。今日は、この後、電話局と事務所とＮＳＣと英語の研修の予定。明日は大使館表敬訪問。

ところで、こちらの洗剤をつかったり、蚊取りマットを使ったりしているうちに、衣類・シーツ、みんな南ア系製品の香り？（匂い？）になってしまいました。もう慣れかな？

ＮＳＣに初出勤
20040419

朝は、日記をアップした後。使用人のために、机、椅子、電気を作業部屋に備えて欲しいことと、水場を彼らのために作ってほしいことをレターにして、ムルングシの担当者に渡すようにことづけた。続けて、電話局へ再び向かった。電話局のオフィスは８時からのはずなのに、誰もいない、すでに一人ボーっと待っていた。そこで、オフィサーのいる隣の部屋に直接書類を持っていったら、担当者がタウンへ買い物？に行っているから待っていろだとさ、ということで待つことたった１５分で、電話の名義変更は終了、４万クワチャ必要だったが。その後、ＮＳＣ（国立科学センター）へ向かった。木工所と鉄工所を取り囲むようにオフィスがあるが、カウンターパート（の予定？）のチョンゴ氏を呼ぶと、彼はスーツで決めて、急いでいるようす。聞くところでは教育大臣の所までいくとか、そこで早々に挨拶をすませてオフィスの鍵をもらった。そうこうしているうちに、EXECUIVE OFFICER （名前がまだわからないよー）が訪ねて来てくれて、センター内を巡回しながら所員に紹介してくれた。彼は、もともと英語の教員とのこと。私の為に、英語の教本を用意してくれるとか。とても、親切で穏やかな物腰、７歳の時に、ポリオを得て、下半身の自由が利かないため、松葉杖生活たが、それは苦にしていないようだった。売店に食堂、工房の技術者や掃除の担当者、小さいけれど図書館の司書、それに購入関係者などに挨拶した。インターネットの部屋もあったが、別の部屋で所長が使っていると使えないらしい。自分のオフィスで EXECUIVE OFFICER と話していたら、所長が入室して来た（この人は服装をかなり決めている）少々雑談してから、所長の部屋で所員に対する心構えのお話（もっぱらお金の貸し借りのこと）。５月中旬までは語学研修があるため、午前中だけの出勤にしてほしいとお願いしてＯＫを得た。オフィスは前任者が丁寧に使っていたため清潔。でも、自分が使いやすいようにアレンジしなおしたり、前任者の教材を作ってみたりする時間がかなり必要なようだ。いずれにしても自分用に作り直すのは大好きだから楽しみである。オフィスを出て、一旦ムルングシへ戻り、電気と水道の名義変更に出かけた。しかし、どちらでも賃貸契約書の写しとパスポートのフォトコピーが必要とのこと。前者はまたコピーに行かないといけない。ということで、再び自宅に戻って契約書を取り、J***事務所へ。コピーをとったり、名義変更の書類準備をしたりしている間に、語学研修の時間となった。ザンビア大学文学部の先生と全くの個人授業で２時間。今日は、中学生レベルの名詞の使い方とザンビアの国境地帯と主要都市名の説明だけだった。先生が疲れていたようなので、聞いてみたら、暑いので窓を開けてくれとのこと。実はずっと窓は開きっ放しだったので、上着を取ったらどうですか、とこちらから進めた。なかなか遠慮勝ちの先生であった。地名として重要なのは、北方洲のカサマ（笠間ではない）、ルアプラ洲のマンザ、東方洲のチパタ、中央洲のカブウェ、カッパーベルト洲のンドラ、北西洲のソルウェジ、ルサカ洲のルサカ（もちろん首都で州都）、南方洲のリビングストン、西方洲のモングだそうだが、まだまだイメージが掴めない。とにかく、輸送がこの国では大問題である。また、群集の中で泥棒呼ばわりされると、その場で周囲の人々に殺されるそうだ。うーん。ＦＭラジオを聴くこと、新聞を読むこと。いろいろ注文をつけられて終了。研修後、帰宅。オリバーは研修中に左前輪のタイヤ修理に行ってくれた。帰宅後、Ｉ夫妻がビーフジャーキーを買って来てくださったので、代金を払い、少し散歩してから夕食の準備とした。前任者の残してくれた炊飯器は最低が４合炊き。それでも２合だけ炊いて夕食とした。

ワークショップ見学と日本大使館表敬訪問
20040420

７時半に出てUNZAへ（University of Zambia）

教育学部の化学実験室で８時から教員養成大学の先生を対象にしたワークショップがあるので見学。

最初にコーラとスプライトの缶にどれだけの二酸化炭素が入っているかを測定する実験をグループで討議しながらやった。

しかし、天秤はオーハウスが１台とザウアーが１台どちらも３４０ミリの缶の重さは量れない。

その後は、こういう実験を従来の授業の比較検討。４０人ほどの先生ががやがややっていて楽しかった。

ＵＮＺＡの実験準備の方に聞くと、薬品は６０年代のもので、無くなったものは補充できなくてこまっているそうだ。

確かに古い設備であった。

その後、午前中にＮＳＣに移動して、部屋の点検の続き、所長にデジタルカメラを渡し、ＥＸＥＣＵＴＩＶＥ　ＯＦＦＩＣＥＲと話そうとした。

ところが、彼は葬式で欠席。本当にあると聞いていたが、やっぱり葬式でお休みする方が多いのかな。

ＮＳＣには１時間ほどいて、帰宅。昼食後、水道局と警備会社へ。水道局は書類を出すだけで終了。

警備会社には、住宅のリース契約のコピーとパスポートのコピーを渡す。後日 J***へ資料を届けてくれるそうだ。対応が早くてよかった。

事務所へ行って、調整員のＤさんと書類作業。その後、日本大使館へ表敬訪問。これは協力隊員と一緒。

門の横は空港と同じセキュリティーゲートがあって。警備員にチェックを受けた。

建物の入り口は２重ドアで外側が開いていると内側が開かないしかけ。このドアは５人位しか一度に通れない。

自己紹介の後、長い長い石大使のおしゃべり、カバが一番怖いとか、平均寿命が３２歳だとか、パンクの修理方法とか。その後、領事から安全情報。経理担当から草の根援助の話であった。

やっと考えをまとめ始めた

20040421

今日も、ワークショップ、ＮＳＣ、諸手続き、J***で語学研修という流れだった。お昼に戻ると、庭師が蜂の巣を示して、ムルングシの事務所に除去を頼んでほしいとのこと。ハイハイ、早速やりました。それと今日から週１日だけど、１３時から３時間メイドさんが掃除に来てくれることになった。アイロンも頼んだ。バンダさん。向かいのＩ婦人の紹介で、とても手際がよいとのこと。確かにそのようだった。

今日は、ワークショップに出ながらメモを作成。こんな感じ。

理数科教材の開発と生産をザンビアでするなら

1.小中学校で重要な理数科教材の順位づけ。
2.低価格だが高品質を目指す（すぐ壊れるならだれも買わない・使わない）
3.理数科教員でなくてもマニュアル無しですぐ使える。
4.本体価格が○○万～○○万クワチャ
5.送料が○○万～○○万クワチャ
6.教材はシリーズ化して、年間１０回購入してくれる学校を１００校以上募集して、そこに送付するなどを考える。
7.子供達が廃物を回収したり、親の寄付で購入できたりするように工夫できないか考える。
8.クラスの全員が一度に１台で学習できるもの、１台でみんなが見られて、できれば体験できるもの。
9.できるだけ、大きくて、後ろの児童・生徒からも見えること。
10.壊れないもの（壊れにくいもの）。

11.埃に強く、汚れても拭けばOK。
12.ＮＳＣの木工職人の仕事で作成できること。
13.安全な教材であること。（一部を除いて危険な薬品を利用することを当面避ける）
　これらの例として、
人体の構造の木製パズル（全身、呼吸器、消化器、心臓、眼球、耳、生殖器）
生物の木製モデル（葉、茎、根、細胞分裂、発生、遺伝）
カメラ模型、ゼネコン、大型モーター、多人数で同時に見られる顕微鏡（太陽光利用）、プレパラートセット、水の合成・分解セット、大型ベル、大型ポンプ模型、滑車セット、大型天秤、万華鏡、風力自動車
　なお、前任者の仕事や自分の実験マニュアルはウェブ化を目標にする。
たとえば、ＤＮＡの抽出法、ＤＮＡモデル、パタパタ細胞分裂・・・・・・
　低価格なものは、教員や児童・生徒が自作する方向で広報し、高品質なものをＮＳＣの工房で自作することが、独立採算につながれのではというのが、今日のところの考え。

人も丸呑みの蛇（アナコンダ？）とコブラもいるんだって
20040422

　またもや、ワークショップに朝だけ顔を出した。スワジランドの女性の先生が授業の工夫について例をあげて説明したあと。グループで先生方が例にそった案を作っていた。昨日パタパタＭＩＴＯＳＩＳを渡した先生に、もとのエクセルファイルを渡して、出発。
　J***で、資料をコピーして、警備会社へ（ここは書類の提出だけでＯＫ）。これで残っている手続きは、自動車保険、自動車名義変更、免許書き換え（当地用）、電気会社となった。免許は１・２ヶ月かかるそうだ。
　続いてＮＳＣへ、オフィスの改装について、少し悩んだ。
　ところで、サムソン製のプリンタを前任ＳＶが購入してくださったのだが、今使っているＸＰ用のドライバーがない。デモ印刷しかできなかった。
　ここのスタッフの顔写真をとらせてもらって、名前と仕事をメモしないとだめだな。
　前任者の残してくれたジャンパーと当地製の作業着を持ち帰って洗濯することにした。
　11時半にはＮＳＣを出て、アーケードでちょっと買い物をして、借家へ。
　軽食の後、ムエンベのマウンテンバイク風の自転車をチェック、ブレーキワイヤーが通るパイプの中に砂が詰まって、ワイヤーが動かないのでブレーキが利かないことが判明。それ以外にもほとんどボロボロ、管理したり、直したりする技術って一般の人々も持つべきだよね。そうでなくても、ブレーキ周りのパーツが貧弱すぎる！
　J***で、警備費申請の書類を書き直してから、英語のレッスン。
　今日は、フレンドリーとセミオフィシャルな手紙の書き方。
　インデントとブロックの違いを始めて知った。でも、練習の手紙は。「あなたは、ポスターコンテストで２位になったので、ヨハネスブルグの子供会議に招待されました・・・・・・。」に返事を書くというもの。でも、この会議に出る交通費は自費なのだよ！とんでもない例文だと思った。
　これから雨季の始まりまで、全くといってよいほど雨が降らないとか、昨日メイドさんが掃除してくれた自宅のテーブル、うっすらと砂を被っていた。毎日ＰＣの砂を掃除機で吸うか？そのくらい用心が必要のようだ。
　夜、4.5MBのプリンタドライバーを1.5時間かけて、ダイアルアップでなんとかダウンロード。
　最後に、上弦の月が出ていたけど、向きが北半球と逆！これまだびっくりであった。

こっちのカラスは全身が黒くない
20040423

　まずは、ワークショップにちょっとだけ、顔を出して、前任のＩ先生作成のＮＳＣ資料を希望していた先生に渡した。
　その後、グループ作業に移ったので、早々にＮＳＣへ移動しようとしたら、運転手がいない。どうやら薬を買いに行ったようだ。プンプン（この後、すぐに作った更新契約書に“絶対に私用で雇用者の自動車を使用しない”と書いた！）
　というわけで、会場（UNZA内のcommonwealth youth なんとか）内でぶらぶらしていると J***のＳさんが来て、主催者とおしゃべりしていた。その間もカマキリ（スズメに食べられそうなので、スズメを思いっきり威嚇していた）の写真などをとっていたら、鈴木さんに二人の主催者を紹介さ

れた。一人は、J***事務所で既に挨拶したことのある堂々たる顔の方、もう一人は、ＣＤＣ（カリキュラム開発センター）の方で、ＮＳＣとは密接に関連して仕事をするのだとか。そういえば、二日前に司会者でした。どうも、当地の方々の名前が覚えられない。でも、大事な関係者です。

移動中にカラスを見た。体の中央が胸から背にかけて白い！こちらには全部が黒いカラスはいないとドライバーが言っていた。写真を撮りたい。

次に、ＮＳＣ。オフィスで延長コードが断線しているかテスターでチェック。断線でした。

昨晩ダウンロードしたプリンタードライバーが使えるかチェック。見事動きました！

ドライバー（これは運転手）の契約書を更新。

こんなことをしている間にも訪問者４名。ＮＳＣのライブラリーの職員。所長、EXECUTIVE OFFICER、のムカンダさん（やっと名前がわかった）それと日本語を話す先生！

この方、バンダ・ベンソンさん、こちらの理科教員協会のプレジデントで女子高の物理と化学の先生だそうだ。理科主任でもある。栃木県で１０ヶ月研修したとかで、実に流暢な日本語で驚き！彼の学校には協力隊員が２名いるそうだ。今は学校が休みで、癌で闘病中のお母さんを見舞いに近くに来たとのことであった。

チョンゴさんに挨拶の後、オフィスの整理に必要な資材のリストを日本語と英語で作ってムルングシに移動。

休憩後に、市内の工業地域と商業地域に教材・薬品・ペンキ・合板の値段を調べにいった。

教材・薬品店は２軒行ったが、「千と千尋の神隠し」のお店のイメージ（失礼かな）埃をかぶった何年前かの薬品瓶の列を想像してください。秋葉原の電気街にある小さな店が化学薬品の瓶でうまっているのを想像してください。という感じでした。

タウンにいくとまだすごく緊張する。ペンキ・合板は比較的大きな商店を見つけたが、自分の車では今日は運べないし、店をチェックして終わりとした。それにしてもびっくりした！

そのあと、マンダ・ヒル（日本にもあるショッピングセンターと同じ）のホームセンターである game（店の名前）で小物の金額を調べ、自分の買い物も。工業製品は日本より高価なのが全体的な印象。でも、現地の人が行く日用品や食品の商店の様子はまだ分からない。

かなり気疲れ、帰って休みたかったが、散歩をして、食事をして、シャワーと軟膏をつけた後、やっと日記。へー、こうやって暮らしている人がたくさんいるんだな。他のＳＶの方によると、地方ではもっと驚くこともあるそうだ。

もう 24 日だ

20040424

日本で職場の休みを取り始めたのが３月２６日だったから、もうすぐ一ヶ月。

まわりの経験者は焦らないで生活基盤をというけど、急いで作業したいと内心思う。

今朝は、向かいのＩ夫妻に誘われて、毎月（１２月を除く）最終土曜日にある教会の市に出かけた。

野菜に民芸品、綿飴にバーベキュー、衣料品に書籍といろいろ。１時間ぶらぶらしたけど、民芸品は眼が肥えてから（いつかわからんが）でいい。結局、障害のある子供がつくったというペン立を二つとアスパラガスを買った。

近郷近在から車が集まって、近所は乗用車で溢れていた。勤務先のＮＳＣのすぐそばだったので、来月も来てみたい。

午後は腹痛で休養。自動車で買い物に挑戦したかったがやめた。こちらでインスタントラーメンは２種類ためしたが、中国製は口にあわなかった。でも、しっかり「カップヌードル」と日本語で書いてあって、作り方も日本語。もちろん他の言葉でも書いてある。Nestle のマギーブランドの２分間ラーメンが今のところお勧めである。

分かりました南十字

20040425

これまでも南半球に来たことがあるけれど、南十字はわからなかった。今日、夕食をＳＶ仲間で食べて戻ってきたら星が綺麗！というわけで、前任者が残してくれた星座早見盤や本で星をチェック。

わかりました。

デジタルカメラをマニュアルにして、Ｆ５．６（これが開放値）で５０秒露光。地面に斜めに立てかけて、何枚かとりました。南天の星座がちゃんと写って感激。

でも拡大するとガイドしてないので、５０秒間に星が移動して筋になっちゃうけどね。ということで、とった写真から南十字星だけ切り取って貼り付けました

日曜でした
20040425

　やっと日本への電話のかけ方もチェックした。（今までなぜやらなかったのかな）
　２つの冷凍冷蔵庫と１台の冷蔵庫。冷凍冷蔵庫のひとつの中身を全部もひとつに移して、霜取りをしてから、次亜塩素酸で消毒。それでも２台使ってる。
　霜取りの間に主寝室のカーペットの毛玉を取る。前任者の置いてくださった、毛玉取りが実に重宝した。
　ムルングシから車で買い物に行こうと挑戦したが、ゲートを出てしばらく走るともう分からない。途中でUターンしてすぐもどった。今度はドライバーに道を聞いて試そう。
　午後は、ムルングシでないＳＶ宅に初めて訪問。バーグラーバーの無い建物で新鮮。
　夕刻、ＳＶのＵさんがこちらのプラスチックラップ（ポリエチレンだと思う）を切る道具を作って持ってきてくれた。写真をご覧あれ。感激。
　それにしても、砂埃がすごい。自宅は隙間風が自由に通る。台所はすぐにザラザラになる。

写真の月は半月直前です（日本と逆でしょ）
20040426
　７時半に出てＮＳＣに向かった。これからこのペースでできればいいのだが、水曜日から３日間午後は英語研修だ。１日中集中してＮＳＣの作業ができるのはいつのことか。
　午前中は、これからの作業や業務費の書類の案を作成。まだまだ準備中だ。

　午後は、帰国するＳＶのＧ氏の仕事場を見学。視聴覚教材の作成指導など、お話と生徒の作品の紹介など。
　ザンビアの現状を冷静に見つめた生徒の社会派？作品をいくつかみてなるほどと思った。
　夕方に、やっと電気会社の名義変更終了。同時に、ドライバーと庭師の来月の給料をＡＴＭでおろした。ＡＴＭは一度に最大１００万ＺＭＫおろせる。それを２回やって、約５万円。これが日本の口座から引き落とされるが、ＶＩＳＡに仲介料を納めなくてはいけない。でも、緊急にお金が必要な時は便利である。しかし、日本の口座には入金の予定が全くないので、お金がなくなったらおろせなくなってしまう。こちらの銀行にお金が入るのはいつだろう・・・・。出国前にグローバルダイレクトを調べなかったのを今になって悔やむのであった。

やっと車の保険がすみました
20040427
　今日は、これまで考えていたＮＳＣでの作業方針をＡ４二枚にまとめて、チョンゴ氏と、EXECUTIVE OFFICERと所長に見てもらった。
　EXECUTIVE OFFICER はもと英語の先生なので、前置詞をいろいろ直してくれた。ＰＣの自動翻訳はほとんど役立たなくて、結局自分でタイプしたものが多かった。
　出発前にアフリカ経験のある方に聞いたとおり、英国式の個室オフィスなので、同僚を訪ねては挨拶するのが大切なようだ。ところで、この EXECUTIVE OFFICER ズボンのチャックが壊れたけど、ＮＳＣのトラックの燃料がないので、家まであなたの車で乗せてって欲しいと、了解したけど、往復２０キロでした。（でも、すごくいい感じの人です）

所員の写真を撮って、名前と顔を一致させようとしはじめたけど、写真に失敗。これから取り直さないと。
午後にやっと車の保険契約に成功、でも３２０００円位。決して安くはない。
最初は、車の評価額が少ない（７０００円ぐらいかなって話したけど、２０００ドルかなに変更して・・・・今回は４０００ドル位にしておいた）から保険は無理と言われて引き下がった。でも、今回は書類をしっかり作って持参したからかすぐ受け付けてくれた。
夕方の散歩でN氏から、ムルングシ内の湿地にはコブラもいると聞く。N氏は雨季に自宅に入り込んだコブラと戦って、殺したそうだ。当地の人々は蛇を極端に怖がるとのこと。（ドライバーは殺したこともあると言っていたが）そういえば、蛇で亡くなる人も後をたたないようだ。

こんなのありかな
20040428
明日はみどりの日でしょうか。こちらは、乾季の始まりにもかかわらず、わずかに降雨がありました。朝晩は涼しいので、快適です。でも、当地の人たちはセーターに革ジャンで自衛しています。夜には、庭師が集めた木片で暖炉を焚いて火を見ながら暖をとりました。この家はＯＡＵ会議（Organization of African Unity アフリカ統一機構）があった時に、セネガル大統領の宿舎だったらしいので、調度品はまあまあです。でも、鍋とか一つずつ手に取ると、そんなに高級品には見えません。
最後に残った公共手続きは自動車の名義変更になりました。金曜日の午後に行く予定です。まだ、１日もＮＳＣに終日勤めたことが無いので、後ろめたい感じです。
今日、運転手のオリバーは自動車の点検に行ってくれました。K606,000（15000 円位）の出費で、かなりの大金。エアフィルターやオイル、オイルフィルターの交換、ホイールアライメントチェックなど、年に３回もあるとはちょっと憂鬱。ところで、昨日は７５キロ、今日は８０キロも走っているのは多すぎるので、対策を考えよう。
J***で当面の生活費の振込みについて、明細を貰ったが、予想より住居費が少ない。いきなり３か月分の明細なので、よく分からないが、４月分は日割りなのだろうか？ＮＹに振り込まれても、まだこちらに送金できないので、困ってしまう。当面、日本の口座からＡＴＭでおろすしかない。とにかく、５月末にまた３か月分をムルングシに納めなくては、何千ドルだっけ。
今日の午前中はオフィスで業務費申請の書類作り、前任者の資料を参考にしながら、ＰＣでカチャカチャやる。前任者の仕事はてんこ盛りだったんだなとあらためて思う。ところで、作業していると、隣の工房から木工の音がする。ちょっとのぞいて見ると、箱をつくっているのだが、それは棺おけでだった。シニアーオフィサーに棺桶をつくっているけど、と聞くと。ある紳士（gentleman と言っていたからな）の親戚が他界したので、本センターの資材で棺桶をつくることを許可したとさ。その木材は机や椅子や実験台の材料のはず！これでいいのだろうか。それ以外に、今日の彼らの仕事はなんだったんだろう。
図書館で、当地の教科書がないか聞いた。しかし、誰かが借りていったんでしょの連続。いつ戻ってくるかな？ところで、９０年台につくられた、廃物利用の理科教材作成ハンドブックを発見。なんだ、ずっと前から西洋人はアフリカ向けにこんな資料をつくっていたんだ。という感じ、まあうすうす感じていたけど、ここでは儲かる物、学校が買いたくなる物を生産しなければ、閉所の運命が近づいていると改めて実感。一方で、やる気も出る。
メイドさんの仕事ぶりをチェックしてから、J***事務所で英語研修。今日は、許諾の取り方と、その返答法の例、手紙の返信の書き方の練習。２時間の個人レッスンは消耗するが、それほど高度な内容ではない。ちょっとじりじりするけど、まだ先生の要求するレベルからは程遠い。ブー。写真はムンガ先生。
都市にいるから、この国がどこへ向かっているのか悩むのかもしれない。これが、物質文明からかなり隔たった農村だったら、もっとおだやかな生活、自然に生まれて、自然に死んでいくなかでの人々の営みに冷静に接するのかな、一方でこのようにも感じる。

えっとみどりの日ですよね（もう終っていましたか？）
20040429

今日は、早朝からなかなか涼しくて快適であった。でも、当地の人々は寒そうで、セーターの上に革ジャンを着て、中には毛糸の眼出帽をかぶっている人がいるくらいであった。庭師と運転手も日本の秋のような服装で現れた。
ＮＳＣでは、木工の機械について説明を頼んだら、丁寧に一台ずつ全部説明してくれた。レゲエ？風の青年だが、実技には詳しい印象であった。工房を利用して休憩時間に自分で買った木材を使うなら好きな物を作っていいとのこと。昨日のお棺は特別としても、今は、食器棚などを作っている人もいる。　彼からは、木材の価格も丁寧に教えて貰えた。こちらの合板は基準が１８ミリ厚。１２２０ミリ×２４４０ミリと日本のホームセンターサイズよりずっと大きい。来週には購入してオフィスを整理する棚類をつくらないと。
ところで、その前に、オフィスにオフィサー達がどかどかと来て、リソグラフを使わせてくれと言った。リソグラフはよくよく見ると中国製、でも、スキャナ部分は日本製かなという感じ。彼らは適当にいじって動かないとイライラしだしたけど、よくよく調べると、用紙トレイを下から押し上げるバネがだめになっていただけ。そこだけ指で押し上げていれば印刷ＯＫであった。結局、製版も印刷も全部面倒見てやった。たいした枚数でないからそれでよいか。
それと所長に呼ばれて、プリンタのドライバが不調で見てくれということであったが、それはうまくいかなかった。プリンタの名称とドライバの名称が明らかに違うからかもしれない。彼のラップトップ（元は前任者の物）は日本語表示なのによく使っているなと関心した。後で調べるとマルチリンガル仕様のウィンドウズでないと、日本語から英語表示に変更できないことがわかった。
午後はまた英語レッスン、掲示用のメモの書き方の指導を受け、免許の書き換え申請書の書き方のアドバイスを受け、それと昨日作った当面の作業方針の文書を添削してもらった。明日は、これからの作業予定を作るのが課題である。
帰ってくる前にかなり疲労しているのが分かる。しのぎやすいが、空気は乾燥している。緊張感は今になって感じるようになってきた。あいかわらず、目の前を年季の入った車が行きかう。でも、やりたいことが段々頭の中で形を作ってきた感じ。
空と雲が綺麗なことにはいつものように（来たときから毎日だけど）びっくりした。
ところで、今日はＮＳＣで停電一回。ムルングシ村はただ今断水中。断水は多分市内の広範囲、でもここはかなり大きな水タンク（直径１m高さ２m位）を各戸毎に備えているのでまあなんとかなりそうだ。

車の名義変更はまた来週
20040430
昨晩から続いた断水は今日のお昼ごろに回復。朝、使用人達に聞くと断水で困っていたそうだ。
ＮＳＣに向かう道の両側には、ポリタンクやバケツを持った子供と女性が大勢歩いていた。
水がもらえるところまで行って、持ち帰るのだそうだ。もちろん大の男は誰も水を運ばない。
ＮＳＣでは、J***用の書類作業、やっと一通りの形式にあわせて完成。早ければ、来週から業務費を使って作業ができそうだ。
午後は、体の疲れを感じたこともあり、英語のレッスンをキャンセル。
自動車の名義変更だけはすまそうと思ってドライバーと出かけた。
しかし、最初に言った Lusaka state insurance では、建物が違うと言われて、transport office へ移動。（どちらも正式な名前は知らない）
ドライバーはここだろうという感じで列に並ぶが、やっと順番がきたら、別の窓口へ行けと言われた。
その窓口では、書類が違うと言われた。列から離れて書類のチェックをしていたら、見知らぬ大男がいきなり、それならこの書類がいるといって、申請書をくれる窓口に案内してくれた。
そこまでは、親切でよかったのだが、さらに電話番号を教えろときた。申請書の書き方は英語の先生に相談するといって、それ以上の親切はお断りして、続きは来週にすることにした。
どうやら複数の役所で手続きがいるようだ。Ｋ２５万もの出費になりそうだが、それ以上かかるかもしれない。今月は手続きでかなり大金を使った。PLUS のマークのあるＡＴＭでお金を引き出しすぎた感じ。
来月は出費が減りますように。